

講義名	グローバル流通論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	白 貞壬		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 1時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	11044

主題と概要

グローバル流通論は、流通においてグローバル化という現象がどのような動きとして現れているかを理論的に分析することにある。この授業では、小売企業の国際競争力をテーマにし、小売企業はいかにして国際的に競争力を発揮するかの問題を明らかにしたい。この課題を達成するためには、「小売国際化」の基礎理論を学び、その理解を前提として複数のケースを取り上げて現状を正確に把握する。そうすることによって、現代の流通論に欠かせないグローバル流通論を身につけることができる。

到達目標

グローバル的視点で物事を考える能力が身につく。

提出課題

期末レポートを課す予定である。

評価の基準

実施予定の小テスト（20%）、中間テスト（40%）、期末レポート（40%）の3つにより総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

1. 指定席（学籍番号順）にする。
2. 教室内での私語及び飲食、不要な出入り、携帯電話の使用などは厳禁する（摘発時減点）。
3. 2回の小テストを行う。
4. 授業開始から15分後の入室は禁止する。
5. 授業中にやむを得ずお手洗いに行く際は、許可を得てから行く。

教科書

.小売業のグローバル・イノベーション.	白 貞壬	中央経済社	未定	未定
---------------------	------	-------	----	----

プリント資料及び参考文献

講義のはじめにプリント及び関連資料を配布する。

参考文献としては、
 向山雅夫・J.Dawson編著『グローバル・ポートフォリオ戦略』千倉書房（2015）
 向山雅夫『ビュア・グローバルへの着地』千倉書房（1996）
 川端基夫『小売業の海外進出と戦略』新評論（2000）
 矢作敏行『小売国際化プロセス』有斐閣（2007）

授業計画

- 1 第1章 現地新生小売企業はいかにして先端国際小売企業に生まれ変わるのか
- 2 第1章 現地新生小売企業はいかにして先端国際小売企業に生まれ変わるのか
- 3 第2章 グローバル・イノベーションとは何か
- 4 第2章 グローバル・イノベーションとは何か
- 5 第3章 日本市場における先端国際小売企業と需要創造
- 6 第3章 日本市場における先端国際小売企業と需要創造
- 7 第4章 内なるグローバリゼーションと小売業態の発展
- 8 中間テスト
- 9 第5章 現地新生小売企業の成長と国際化行動
- 10 第6章 日本型CVSと韓国型CVSの生成・発展プロセス
- 11 第7章 アジアにおけるセブン イレブンの創造的適応
- 12 第8章 イケアの日本進出とホームファニッシング業態
- 13 第9章 イケアの参入と韓国家具インテリア市場の拡大
- 14 第10章 小売国際化におけるイノベーションの発生と企業の進化
- 15 第10章 小売国際化におけるイノベーションの発生と企業の進化

予習・復習

教材を事前に読んでくること

備考